

私は政清会を代表して、陳情第7号加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める陳情に反対の立場で討論させていただきます。

高齢化の為、加齢性難聴者が増加している傾向や難聴が認知症の危険因子の一つに位置付けられた事は承知しておりますが、現在、生活に支障が出る重度の障害者手帳をお持ちであれば補聴器購入に対して補助を受けることが出来る助成制度がございます。

また補聴器自体も付ければすぐに聞こえが良くなるわけではなく、何度もチューニングをして自分に合った状態を維持しなくてはならない為、何度も作り直しを必要とするケースが多いとお聞きしています。

国において補聴器を用いた聴覚障がいへの補正による認知機能低下予防の検証が研究されており、この動向を注視しているところであり現在の野田市の厳しい財政状況を鑑みますと国と歩調を合わせて行う必要があると考えます。

また陳情項目2の「高齢者の特定健診の項目に聴力検査を加えていただきたくお願いします」については現在、特定健診を行って頂けている医療機関すべてが聴力検査を行える状態ではなく検査機器のある一部の医療機関に殺到してしまうことが予想されることから厳しいものと考えます。

以上のことから陳情第7号加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める陳情に反対とさせていただきます。